

ことが聞きたい 一般質問

議員9名が町政を問う

本定例会の一般質問の要旨をお知らせします。
(紙面の都合上、質問及び答弁は要約しております。)

高橋 嘉明 議員

問 ふれあい合併後の本庁機能のあり方について

新揖斐川町がふれあい合併という名で対等合併をして、はや7カ月が過ぎ、3月に骨格予算、6月には補正予算が決まり、いよいよ新しいまちづくりが始まりました。

現在の状況を見ても、確かに広大な面積と1町5村がいろんな問題を抱えての合併であったので、予算編成など、町長も職員の皆さんも大変な仕事であったと思います。しかし、我々地域の町民が期待をし、多少の犠牲やむなしと思いつながら胸を膨らませた思いとは裏腹に、最近揖斐川町の吸収合併のような気がしてならないのは私だけでしょうか。町長は精力的に各地区を回り、御自分の足と目で地域の情報を集めてみえますが、本庁の職員の人たちはどうでしょう。もうそろそろ各地区を回り、調査・研究する必要がある

のではないのでしょうか。本庁の机の上ではわからないと思います。

財政が厳しい中、予算カットはやむを得ないと思いますが、現状を把握もせず全てをカットしていくのは、いかがなものかと思えます。それを知るためには、机の上ではわからないと思います。

これらのことについて、どう考え、どう対処していくのか、お聞きしたいのでよろしくお願いたします。

答 井川 孝明 助役

1町5村が合併し、広大な面積を持つ揖斐川町が誕生して7カ月が過ぎました。この広い行政区域を自分の目で見ることは、各部長にとっても大変重要なことと認識しており、各地域へ積極的に出かけております。しかしながら、すべてをまだ見ておりませんので、早い時期に各地域を見て回るようにしたいと思っております。

新揖斐川町は、将来のまちづくりや住民サービスの向上などについて真剣な議論を尽くされ、合併に至ったわけでございます。新町はすばらしい自然と歴史、数多くの伝統文化・行事があり、各地域がそれぞれの個性を生かした事業を展開していくことが重要と考えております。

厳しい財政状況の対応と効率性の高い行政運営を求め、このほど

行政改革推進室を立ち上げ、全事務事業の総点検を行っておりますが、そうした中で各地域の状況を踏まえながら必要な事業を精査してまいりたいと考えております。

尚、振興事務所と常に連絡をとりまして地域の実情を把握し、地域の意見を行政に反映させることが重要なことと考えておりますので、今後積極的に各地域へ出かけるよう指示してまいりたいと考えております。

問 各財団等の一元化について

現在の揖斐川町には町から委託している有限会社や財団が4団体あります。それぞれに委託料を支払い、それぞれに経営していますが、合併した今、この団体も合併するべきだと思います。

その理由として、一、町も財政の苦しい中、それぞれに支払っているのはどちらも苦しくなります。

二、広告宣伝費が四つ一度にできるので、安く効率がよい。
三、それぞれのお客様に幅広いサービスが提供できる。
四、人材がいろんなところへ異動できるといふ点になり、経費削減にもつながる。

五、職員もいろんな職場に行き、視野が広がるのであります。

せっかく各町村が苦勞して建てた財産でありますから、守り育て、町に利益を生む団体にしていかなければならないと思います。そのためには合併させ、経営に携わられる理事を幅広く町全体から公募し、民間企業のようにひとり立ちできる会社に生まれ変わらせる必要があると考えます。その第一歩として合併させなければならぬと思っておりますが、町長のお考えをお聞きしたいので、よろしくお願いたします。

答 宗宮 孝生 町長

現在、本町には財団法人ふじはし、財団法人グリーンステージ久瀬、株式会社サンシャイン春日、有限会社デジタルアート谷汲の四つの財団、第三セクターがございます。このほかに法人格をもつものとして谷汲観光協会が一つあるわけですが、これらの第三セクター等につきましても、合併の前、それぞれの地域において地域の活性化や雇用の対策の核として役割を果たしてきたものと思っております。そうした中で、今の時代、あるいは合併後の時代につきましては、町有施設の管理を任されているという点においては、どの財団、第三セクターでも同じことでございますが、議員御指摘のように、合併によるメリットがあるという中で、この財団、第三セクター等を今